

【教育目標】 英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに



中野だより

令和元年 6月24日 発行 第14号 発行者:中野区立中野中学校

『誇り』について考える ～ある老婦人の思い出から～

本棚に矢口前校長先生が置いていかれた「つまらない大人にはなるな！(川北義則著)」という文庫本がある。矢口先生から私へのメッセージと受け止め読んでいたら、ある老婦人の70年程前のエピソードが収められていた。

彼女が10歳のころ、家に固定電話が入った。すると、ほどなく「上を二人前」「特上三人前と肝吸いお願いします」というような電話が頻繁にかかってきた。それは浅草の老舗鰻店への間違い電話であった。普段は怖くて怒りっぽい父親が、間違い電話の都度、相手に鰻店の正しい電話番号を教えた。また、家族が間違い電話を受けた時のために、電話のそばに鰻店の電話番号を書いた紙を貼った。10歳の彼女も、何度か電話口で正しい番号を教えてあげた。



ある日、家の前に黒塗りの高級車が止まり、中からきれいな和服を着た女性が降り、家に入ってきた。老舗鰻店の女将であるという女性は、

「間違い電話の度に、親切に私共の店の電話番号をお教えくださいましたそうで、ほんとうにありがとうございました」

と丁寧な礼を述べ、滅多に口に入らない高級羊羹を置いて行った。

以上のような内容である。度重なる間違い電話に対して「間違いだよ！」と怒って電話を切ることをせず、正しい電話番号を教えあげる。自分がされて嫌なことはせず、自分がされて嬉しいことをする。彼女の父親はそれを自然とやってのけた。

「勉強しろとは一切言わなかった父ですが、もしかすると、とてもいい教育をしてくれたのかもしれないね。」

女性はそう述べ、亡くなった父親を今でも『誇り』に思っているという。

さて、明後日から修学旅行。期間中、中野中の先生方が3年生を『誇り』に思う、そんな修学旅行になることを期待している。それには、しおりの巻頭言に記載した「修学旅行は校外学習の集大成の場であり、集団の規律や秩序を守る態度の育成を目的とした授業。そこには節度と品位ある行動が求められる」が体现されなければならない。

運 動 会

6月1日(土)、第8回運動会が行われました。今年は1・2学年と3学年の学級数が異なり、昨年までのように縦割りでの対抗ができなくなりました。それでも、これまでより進化した運動会を目指し、縦割り応援合戦をクラス対応応援合戦に、縦割り綱引き合戦を全校大縄跳びに、生徒会種目で借り人競争を行い、部活対抗リレーに教員チームが参加するなど様々な工夫を凝らしました。そうした奮励努力の結果、今年は、これまでの運動会に勝るとも劣らない充実した内容となり、たくさんの保護者やご来賓の方からお褒めの言葉をいただきました。中には、これまでの運動会で最も良かったという感想をお寄せくださった方もいらっしゃいました。

奮励努力 ～君は、見事に駆け抜けた！～



立派な選手宣誓！



2Cの応援は「ハカ」



僅差でゴール！



後は頼んだよ！



その調子、その調子



ローレン、ローレン！



私達の心は一つ！



がんばってー！



絶対に負けられない！



俺たちは最強だぜ！



お願い…！



ノースайд！

～保護者のご感想～

- 初めての中学校の運動会、想像以上に楽しませていただきました。小学校とはまた違って迫力があり、走る競技も多く、見ていても飽きずに、テンポも速く面白かったです。観客席も皆さん協力し合って譲り合い、疲れることもなくとても見やすかったです。中野中の運動会、アットホームでとても素敵な運動会でした。（1年保護者）
- 中学生になると自分達で運営や進行に関わって行事を作っていくことはとても良いと思いました。クラスや部活の友達同士でも協力して行う競技もあり、面白かったです。先生方の活躍も素敵でした。ありがとうございました。（1年保護者）
- この暑さの中、運動会の時短や無くしている学校がある中で、通常通り行われ、子どもの成長を多く見られる場面あったこと、先生方には感謝しております。ありがとうございます。我が家は、来年が最後になります。来年度も楽しみにしております。（2年保護者）
- 今年初めて開会式で吹奏楽部が入場行進曲を演奏したこと、これはとても運動会らしくて感動しました。これからも生の演奏で行進曲を続けてほしいです。（2年保護者）
- 部活対抗リレーの先生チームが本気で参加されていたのでとても楽しかったです。生徒会種目は、先生、生徒、保護者と巻き込んで会場が一体となり、とても良かったです。運動会は先生方の熱い指導、生徒たちの頑張りによりとても楽しい、良い運動会だったと思います。ありがとうございました。（3年保護者）
- 今年の運動会はこれまでで一番良かったです。生徒たちが張り切って競技に取り組んでいる姿に感動し、元気をもらいました。先生方が生徒と一緒に走られる姿や、生徒の傍で声援を送られる姿に一体感を感じ、保護者として嬉しく思いました。ありがとうございました。（3年保護者）

「いのちの授業～がんを通して～」を実施

6月8日(土)、「いのち」の尊さや生きることの意義を考えて生活することを目的に、「いのちの授業～がんを通して～」として、1時間目は各クラスの教室で道徳授業を、2・3時間目は体育館で講演会を実施しました。

体育館での講演会では全校生が変形「コの字型」になり、主催者から授業の趣旨と久住ドクターからの「がん」についての説明を聞き、その後、元がん患者の阿南さんからの話を聞きました。阿南さんは、留学先のイタリアからインターネット中継で出演していただきましたが、生徒は阿南さんのお話に真剣に話に聞き入っていました。

最後の質問タイムでは、久住ドクター及び阿南さんが一人ひとりの質問に対して丁寧に答えていただきました。



スクリーンには阿南さん

～生徒代表お礼のこたば～

本日はお忙しい中、また、普段なら休まれている夜の時間帯^(注)に、とてもためになるお話をありがとうございました。

私の祖父はがんで亡くなり、祖母も乳がんに罹っていたことがあります。私にとって「がん」は聞き慣れた病名ですが、今日、「がん」について詳しく知ることができ、とても良かったと思いました。

お話の中で特に心に残ったことは阿南さんが、ご友人から「絶対に治るから！」と言われて腹が立ったと仰っていた部分です。本人の気持ちは本人にしか分からないという当たり前のことに改めて気づかされました。もし、身近な人が「がん」になってしまったとき、その人の「いのち」や生き方を尊重して声かけを行なわなければならないと思いました。

今日のお話から、健康で生活できる自分がどれ程恵まれているのか実感しました。同時に、自分や他のたくさんの尊い命を守っていくためにすべきことは何なのか考えるきっかけになりました。これからは、1秒1秒を無駄にせず、常に全力を尽くしていきたいと思います。

(生徒代表 3年A組石井 百夏)

(注) イタリアと日本の時差は7時間、日本時間の午前10時は、イタリアの午前3時になります。

第1回オープンキャンパス

6月7日(金)、区内の桃園第二小学校、桃花小学校、平和の森小学校の6年児童を迎えてオープンキャンパスを行いました。第1回目の今回は、体育館で簡単な説明を行ったあと、授業見学を行いながら校内見学を見学し、その後体育館で生徒会役員による学校説明会や制服ファッションショーが行われました。最後、児童からたくさんの質問が出され、それに対して生徒会役員が一つ一つ丁寧に答えていました。小学校6年生の妹さんが、中学校で生徒会役員を務めているお姉さんに質問するという微笑ましい場面もありました。

第2回目のオープンキャンパスは、9月25日(木)に6年生児童の授業体験や部活動体験が行われる予定です。



☆ 表 彰 ☆

○中野区中学校総合体育大会ソフトテニスの部

団体の部 第1位

個人の部 第1位 石井 百夏・田中 咲妃ペア
第2位 栗原 杏衣・佐原 遥ペア
第3位 岡田 奈々美・小野 圭央里ペア
第3位 栢森 さら・金子 瑞希ペア

○運動会

優 勝 1年C組 2年C組 3年B組 準優勝 3年D組
部活対抗リレー 男子の部 優勝 サッカー部
女子の部 優勝 バレーボール部
パフォーマンス部門 吹奏楽部

サンモール商店街「空中ギャラリー」開催中



今年も中野区サンモール商店街「中学校空中ギャラリー」が開催されています。

本校は美術部が作品を出展しました。「夢」というタイトルの作品はなかなかの出来です。

同ギャラリーは6月29日（土）まで開催されています。